

総合6次産業都市の実現による地域産業活性化（西条市）

【取組概要】

- 農産物の生産、加工、流通などの機能を集積化し、食料産業クラスターとして総合的な仕組みとなる「総合6次産業都市」を実現。
- 農産物加工、貯蔵、流通の主要機能を集約した『コア機能』、露地栽培と施設栽培のベストミックス体制を確立する『安定的生産機能』、農業人材や高度専門人材を育成する『専門人材育成機能』の3つの機能を確立。
- 平成26年10月に四国最大級のカット野菜工場「サンライズ西条加工センター」が設立され、既にプロジェクト全体で約60名の雇用を創出。
- 平成27年度には、農業関係団体、愛媛県などの関係者と連携して加工・業務用野菜の産地づくりが本格始動するほか、愛媛大学などと連携した高度専門人材育成拠点の設立に着手することとしている。

人口 112,363人

担当部署 企画情報部地域創生室

事業期間 平成23年4月～平成31年3月

<http://www.city.saijo.ehime.jp/site/sougourokujisangyo/>

四国経済を牽引する総合6次産業都市 全体像



四国内外の市場へネットワーク化

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】

- 「農業界と経済界の連携」「産学官金の連携」として注目を集め、地方創生関連2法成立後初となる地域再生計画の認定を受けている。
- 単なる企業誘致ではなく、当市が西条産業情報支援センターを中心に積み上げてきた新産業創出のノウハウを組み合わせ、大手企業と地域企業・団体の協同体制を確立。

【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

- 加工・業務用野菜の産地づくりに向け、農業関係団体、愛媛県などの関係者が参画した協議会を設置することとしている。
- 大学との連携を強化し、産業基盤の安定化と産業人材育成・確保の両面から地域創生に取り組み、他の自治体に成果を波及させる広範な産業クラスター形成を目指している。



サンライズ西条加工センター竣工式

